

富津市

(仮称)第2期君津地域広域廃棄物処理事業基本構想(案)パブリックコメントに係る質問・意見

	質問・意見内容	個別・PB	回答
1	人口減少が進む中で処理能力を、現在のものより多くした理由は	PB	君津地域4市に対しては、現在450t/日施設を402t/日と少なくする計画です。 なお、2市1町を受け入れた場合は477t/日と多くなります。
2	処理能力が、現在のものより6%のアップに対して、建設費が132億円(52.8%)も増える理由は	PB	施設建設費は、近年の一般廃棄物処理施設の契約実績を踏まえて算定しており、現施設からは増加しておりますが、今後、精査いたします。
3	富津市新富地先3.0ha(30,000㎡)の場所が第1候補地となっておりますが、ここの平均地価は、大体20,000円/㎡だと思います。 そうしますと、単純計算でも6億円を超えて不動産売買手続きに係る費用を考えると、試算された金額では取得が難しいと考えますが、如何でしょうか	PB	P55【施設概要】一般的な条件を想定し敷地面積を約20,000㎡で算出しています。なお、建設地の敷地形状や周辺道路条件など立地条件によっては変動が想定されません。
4	この基本構想(案)で示されている建設費等が後々増えていくことのないように、試算はしているのか	PB	施設建設費は、近年の一般廃棄物処理施設の契約実績を踏まえて算定しており、現施設からは増加しておりますが、今後、精査いたします。
5	注意書きの「土地売却収入」とは何か 候補地となった市が、購入した土地の一部を他市に賃貸し、賃料をもらうこと等を検討しているのか	PB	ご指摘の注意書きは、売却条件が未定のため、売却益の発生を見込んでおりません。
6	2市1町が加わったことによる追加炉及び有害鳥獣の処理炉を加えた場合必要な敷地面積は	PB	君津地域4市に加え安房地域2市1町の廃棄物を処理する場合は施設規模は402t/日が477t/日になりますが、敷地面積には大きく影響はしません。 なお、有害鳥獣を処分することに関しては、別途検討します。
7	有害鳥獣の処理施設を併設、また、2市1町が加わった場合、搬送経路をどのように考えているか、また、候補地となる市街地を通る可能性が出てきた場合、どのように考えているか 市街地を通る場合には、有害鳥獣の腐乱による臭いや病原菌、汚水対策等に十分考慮して頂きたい。	PB	搬送経路については、一定の制限を設けるなどの対策を考えております。 また、有害鳥獣の搬送にあたっては、ご意見にもありますとおり、環境衛生面に十分考慮して参ります。
8	候補地は、最終的にいつ頃決まるのか	PB	基本構想(案)では平成30年度中としております。

<p>9</p>	<p>P58～P61 地域の防災拠点となる廃棄物処理施設として、①施設の強靱化、②エネルギー供給の安定、③防災活動の支援という機能が求められます。 以上の観点から、新施設について、必要な検討内容を①から③までに示します。 P58～P61 ①施設の強靱化：2始動用電源、燃料保管設備 ■燃料保管設備 都市ガスの中圧導管は、耐震性を強化している場合が多いので、燃料として、都市ガスを採用することも視野に入れる。 ②エネルギー供給の安定 ■供給量の安定化 安定したエネルギーを供給するため、バックアップとして常用の発電設備を設置することが望ましい。この常用の発電設備は、焼却炉1炉を再始動するための非常用発電設備の代替としても活用できる。 市の意見に賛同いたします。</p>	<p>PB</p>	<p>防災拠点としての検討の中の始動用電源及び燃料保管施設の設置において、発電機の燃料に都市ガスの採用も視野に入れています。</p>
----------	---	-----------	--